



手をつなごう 核兵器のない 世界と未来へ

原水爆禁止日本協議会（日本原水協）担当常任理事
前川 史郎

【自己紹介】

- ・1979年8月大阪生まれ。ひょんなことから原水爆禁止1998年世界大会-広島に参加して「長崎原爆松谷訴訟」を知り、「ヒロシマ・ナガサキからのアピール」署名とともに、裁判支援の署名運動にも加わるようになる。
- ・大阪平和委員会青年学生部を仲間とともに立ち上げて活動。被爆者の思いを同世代の青年に伝えたいと、2002年に大学を1年間休学して原水爆禁止国民平和大行進（東京-広島コース）を通し行進。3ヶ月間の行進中は毎日、携帯電話で日記を書き、登録していた300件のメールアドレスに「いろいろ～の平和行進日記」として発信し続けた。
- ・2004年の大学卒業と同時に日本原水協で働き始め、同年12月から機関紙「原水協通信」の編集長を務める。
- ・趣味は映画鑑賞。月刊「民医連医療」で映画紹介を連載中。サッカー観戦も大好き。
- ・家族は妻と長男。



被爆者の証言を読もう・聴こう

原水協通信 On The Web

BULLETIN OF THE JAPAN COUNCIL AGAINST A&H BOMBS

Posts Comments

最近の投稿

核兵器・大量破壊兵器の廃絶へ
枯葉剤被害のビデオ・パワポ3点
セットDVDの普及を！ 2021年5月
27日

「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」オンライン署名／スタート集会動画／署名用紙／集会アピール／共同およびかけ人リスト／メッセージ 2021年5月27日

【動画あり】「今週の平和行進」
オンライン 2021年5月25日

2021年原水爆禁止国民平和大行進・各地のニュース 2021年5月24日

【動画（日本語同時通訳）・発言資料有り】第13回アジア・ヨーロッパ人民フォーラム総会

（AEPF13）分科会II「核兵器禁止条約を力に - 非核平和のアジ

被爆者の証言
は受け止める
者の胸を打ち
人生を変える
力を持つ

« 学習パンフレット「手をつなごう 核兵器のない世界と未来へ」完成！

核兵器禁止条約（TPNW）発効記念キーホルダー限定販売スタート »

【動画あり】被爆証言リンク集

サーロー節子「沈黙の閃光」

故・谷口稜暉さん聞き書き「原爆を背負って」西日本新聞連載



「つなごう
パンフ」
P7-8より

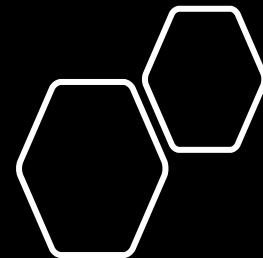


【動画】NHK原爆の記憶 ヒロシマ・ナガサキ 証言ライブラリー索引ページ

【動画あり】広島平和記念資料館平和データベース 被爆証言ビデオ

長崎市 証言集

1945年 原爆投下



広島＝14万人
長崎＝7万人
年末までに死亡

アメリカが
2種類の原
子爆弾を落
とした理由
＝ソ連との
間で戦後支
配を有利に
進めるため

キーワード=嘘と隠蔽とのたたかい

大日本帝国 = 大本営発表 GHQ = プレスコード

大本営発表 = 「新型爆弾」 「目下調査中」 「被害僅少」

プレスコード = アメリカ人記者による放射線被害の報道を握りつぶしたほか、原爆被害に関するあらゆる発表を弾圧

「広島・長崎では、死ぬべき者は死んでしまい、9月上旬現在において、原爆放射能のために苦しんでいる者（原爆症患者）は皆無だ」

（アメリカ原子爆弾災害調査団長トマス・ファレル准将 = 1945年9月6日、東京・帝国ホテル連合国海外特派員向け会見）



1945年10月24日 = 国際連合（国連）発足（20か国批准）

1946年1月24日 = 国連第1号決議（核兵器その他の大量破壊兵器廃絶をめざす）が採択



THE 75TH ANNIVERSARY OF THE
FIRST RESOLUTION OF THE UNITED NATIONS GENERAL ASSEMBLY

“
The risk of nuclear war will exist so long as nuclear weapons do. Together we can work to achieve the vision of a safer and more secure world that gave life to the United Nations – a world free of nuclear weapons.

”

-- IZUMI NAKAMITSU
USG & HIGH REPRESENTATIVE
FOR DISARMAMENT AFFAIRS

「広島・長崎への原爆投下の衝撃から5ヶ月後の国際社会の決意を、私たちは今思い起こし、行動すべきです。世界をより安全なところにするために」
(中満泉国連事務次長／軍縮問題担当上級代表Tweetより)

プラボークレーター

直径2km
深さ80m

アメリカは1954年3月1日
ビキニ環礁で
プラボーウ水爆実験
威力=広島原爆の1000倍

ビキニ島

「ビキニ事件」→原水爆禁止と核実験の即時中止を求める署名運動が全国で同時多発的に生まれ、1954年12月に2000万人分が集約。1955年8月6日、広島で**第1回原水爆禁止世界大会**が開かれ、8月3日までの集約として**3158万3123人分**と発表された（当時の有権者総数の半数を超える）



署名の力＝日本政府の態度を変える「アメリカの水爆実験への協力は当然」
→ 「署名運動に協力する」（鳩山首相）

1955年9月19日＝原水爆禁止日本協議会誕生

世論と運動：数々の署名運動 国連・各 government・NPT再検討会議への働きかけ

主な署名運動と署名数

- 「ヒロシマ・ナガサキからのアピール」署名
国内で6000万人を突破(2000年10月2日)
- 「いま、核兵器の廃絶を」署名 503万108人分
(2005年5月4日) 第7回 NPT議長に提出
- 「核兵器のない世界を」署名 690万1037人分
(2010年5月2日) 第8回 NPT議長に提出
- 「核兵器全面禁止のアピール」署名 633万余人分
(2015年4月26日) 第9回 NPT議長に提出

H I B A K U S H A A P P E A L

ヒバクシャ国際署名

2016.04 - 2020.12

最終集約数

13,702,345 人分



ヒバクシャ
国際署名
HIBAKUSHAPPEAL

国連事務総長にオンラインで提出

核兵器禁止条約 の成立へ 力を発揮した 「ヒバクシャ 国際署名」



核兵器禁止条約交渉会議第2会期（2017年6月）で296万人分の署名目録を手渡した際、エレン・ホワイト議長（コスタリカ大使）は驚きの声をあげ、感動に目を潤ませながら「私は必ずやります」と誓った。



多くの政府代表が会議の中で被爆者と市民社会の貢献を高く評価する発言をおこなった。



2017年7月7日 核兵器 禁止条約 採択！

賛成122/反対1/棄権1
国連、各國政府、
被爆者、「市民社会」
の共同による成果
2020年「核兵器禁止
条約」決議には130か
国賛成

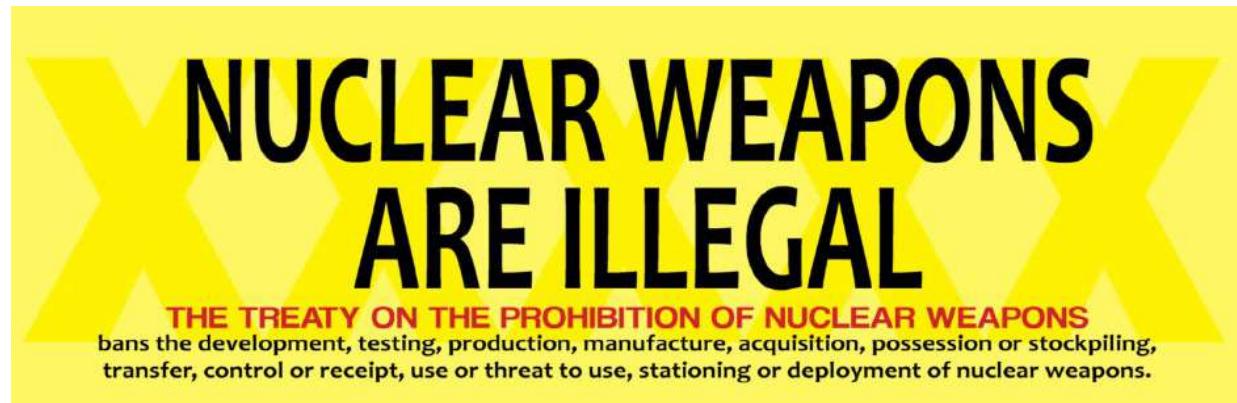


人類の生存への脅威・核兵器が違法に 核兵器の人道的結末イニシアティブ

* 1発の核爆発でも世界全体に長期にわたる壊滅的被害を人間の命、暮らし、環境、気候、食料、経済活動に与える。どの国も国際機関も救済できない。

インド・パキスタンで限定核戦争→20億人が飢餓

*核兵器のリスク—事故、計算違い、誤解などによる核兵器の使用





核兵器禁止条約

Treaty on the Prohibition of Nuclear Weapons

発効

coming into effect

2021年1月22日

発効すると どうなる？



- **締約（批准）国**
→ 条約に、法的に拘束される。
- **署名国**
→ 条約の趣旨・目的を損なわない義務を負う。
- **非締約国**
→ 国際人道法の諸原則である無差別攻撃の禁止（軍、民の区別）／不必要的苦痛を与えてはならない（残虐兵器の禁止）による事実上の拘束力＝核兵器の「汚名化」、「非正当（統）性」、使用する者は「無法者」、「恥知らず」という概念により、核兵器を持っていること 자체を国際社会が許さなくなる。

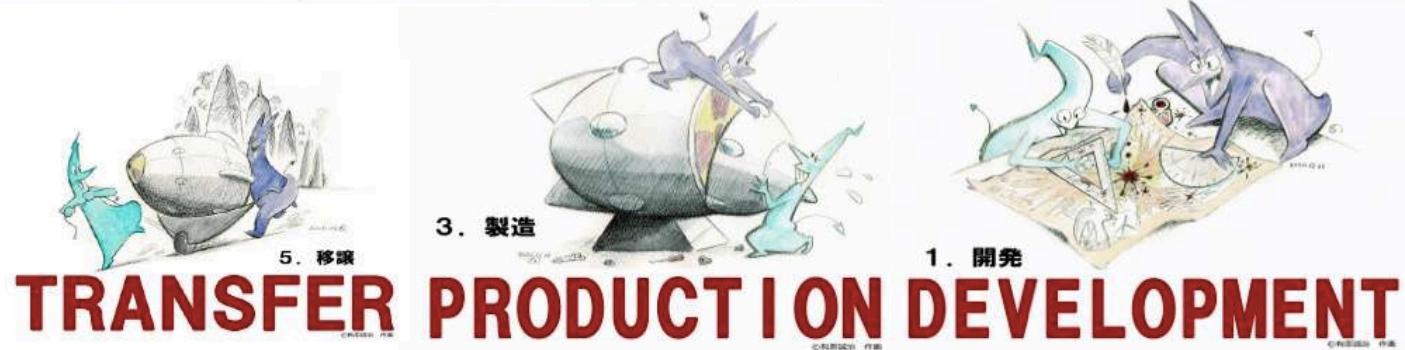
署名=条約の内容について、国家の代表者が合意すること
批准=国家として条約を締結する意思を議会の承認を得て最終的に決定すること。つまり、各国が内容を吟味した上で、その条約に加盟すること。

The Treaty on the Prohibition of Nuclear Weapons bans 核兵器禁止条約がXにしたこと



THREATENING TO USE

イラスト=有原誠治
使用したい場合は
arihara3@gmail.com まで



6. 使用

USE STOCKPILING TESTING



4. 備蓄



2. 実験

世界の核兵器数と非核兵器地帯

Number of Nuclear Warheads and Nuclear Weapon-Free Zones in the World

中央アジア非核兵器地帯条約(2006年)

Treaty on a Nuclear Weapon Free Zone in Central Asia (2006)

モンゴル一国非核の地位(国連総会決議で承認:1998年)

Nuclear Weapon-Free Zone Status of Mongolia

(Acknowledged by the U.N. General Assembly resolution in 1998)

米国で1800発が
「高度警戒態勢」(警戒即発射)に

225

イギリス

6,260

ロシア

総計 Total
13,130

290

フランス

90

イスラエル

90

カーボベルデ

ギニアビサウ

コートジボワール

トーゴ

サントメ・プリンシペ

コンゴ

アンゴラ

ナミビア

レソト

南アフリカ

モザンビーク

ジンバブエ

マダガスカル

モルディブ

モーリタニア

セーシェル

マラウイ・コモロ

マダガスカル

モーリタニア

発効後の新たなたたかい

- 焦点：核保有国や核依存国で
誤った考え＝核抑止力論をなくす

「いくつかの国は、
『核兵器は自国の国家
安全保障・生存にとって
極めて重要である』と
考えている。しかし、
核兵器の廃絶は、どこか
1つの国の運命を超えた
問題、すなわちこの惑星
の生き物の生存にとって
不可欠なものなのだ」



国際連合広報センターHPより

核兵器では平和も安全も守れない

事故、人為的ミス、誤報

- 1959年 6月 沖縄／核ミサイル「ナイキ・ハーキュリーズ」の誤発射
- 1965年 12月 鹿児島沖／米空母から水爆搭載の戦闘機が海中へ転落
- 1968年 1月 グリーンランド／水爆4個を搭載した米戦略爆撃機が墜落炎上
放射性物質が溶け出し周囲を大規模汚染
- 1979年 11月 アメリカの早期警戒システム・レッドアラート
- 1980年 6月 ソ連の潜水艦からミサイル発射という誤報がアメリカに
- 1983年 9月 ソ連／早期警戒衛星の誤作動
- 1983年 11月 NATOの図上演習をソ連が誤解
- 1995年 1月 ロシア軍／未確認ミサイル
- 2018年 1月 ハワイ州緊急事態管理庁／弾道ミサイル飛来という誤報

核兵器使用の危険性の事例 意図的な使用の危機

- 1950年 朝鮮戦争
- 1954年 ベトナム・ディエンビエンフー
- 1958年 中国(台湾海峡)
- 1962年 キューバ危機
- 1990年 イラク
- 2017年 北朝鮮

「つなごう
パンフ」
P6より

核兵器にかかわる重大事故の事例

- 1959年 占領下の沖縄で、人的ミスにより核ミサイル「ナイキ・ハーキュリーズ」が誤射され、那覇軍港の沖合に着水。もし爆発していたら那覇市は全滅していた。
- 1961年 アメリカのノースカロライナ州上空でB-52B戦略爆撃機が空中分解。搭載されていたマーク39水素爆弾(2~2.5メガトン)2発が落下。もし爆発した場合、首都ワシントンは壊滅したものと推定。
- 1962年 キューバ危機。ソ連によるキューバへの核ミサイル配備を巡り、米ソの全面核戦争の一歩手前まで至る。最終局面で沖縄からソ連に向けて核ミサイルの発射命令が出されたが寸前で回避された。当時沖縄には多数の核兵器が配備されていた。
- 1965年 日本・九州沖の公海上(喜界島の南東約150km)を航行中の米空母タイコンデロガからB43水素爆弾を搭載したA-4E攻撃機がエレベーターから海中へ転落。水素爆弾は機体とともに水深約5000メートルの深海へ没した。
- 1966年 スペイン上空でB52戦略爆撃機がKC-135A給油機と空中衝突し、海中に墜落。搭載されていたB28R水素爆弾4基のうち、回収できたのは1基のみ。2基は地上で飛散して大規模な放射能汚染を引き起こし、1基は行方不明のまま。
- 1968年 デンマーク自治領・グリーンランドのチューレ空軍基地上空でアメリカ空軍のB-52戦略爆撃機の機内で火災が発生し、基地西方の氷上に墜落し大破炎上。核爆発には至らなかったものの搭載されていたB28FI水素爆弾の放射性物質が飛散、炎で溶けた氷と混じり合って大規模な汚染を引き起こした。

「未来パンフ」
P9より

サイバーハッキングや極超音速
ミサイル（マッハ5超=宅配ピザより速い）
などで高まる核爆発の危険

核兵器・軍事にかける費用を 医療・福祉・経済対策へ

「つなごう
パンフ」
P14より



防衛費(軍事費)
5兆3422億円

敵基地攻撃を
目的とした装備に税金が

ステルス戦闘機 F-35A
F-35B

4機(391億円)
2機(259億円)

「いずも」型護衛艦改修費
関連経費

203億円
697億円

2020年軍事支出(推定)

1兆9810億ドル
(約214兆円)

「つなごう
パンフ」
P6より

1位 アメリカ
 7780億ドル

2位 中国
 2520億ドル

3位 インド
 729億ドル

4位 ロシア
 617億ドル

5位 イギリス
 592億ドル

.....

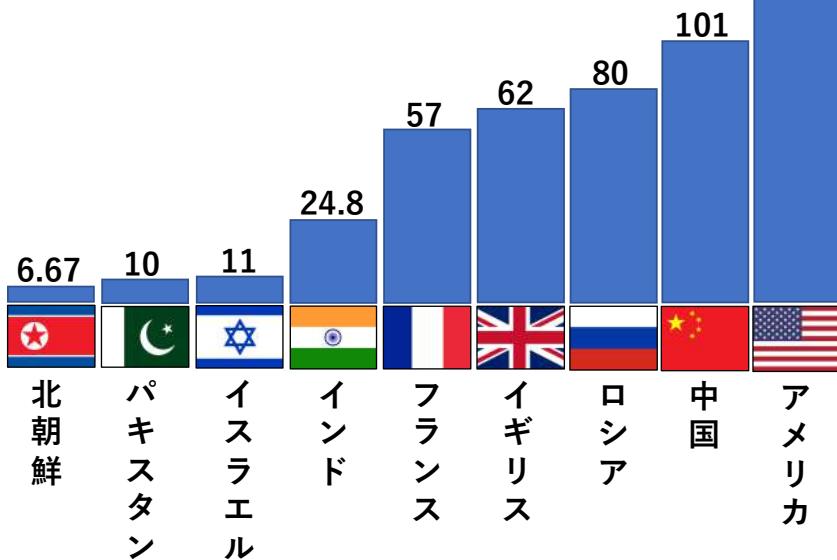
9位 日本
 491億ドル

出典：ストックホルム国際平和研究所(SIPRI)

米英仏を中心に21企業が20年に核兵器関連で277億ドルを支出していました。一方でロビー活動には1億1700万ドルを支出していました。

2020年の核兵器関連支出 総額 726 億ドル (7兆9400億円)

核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN) 調べ

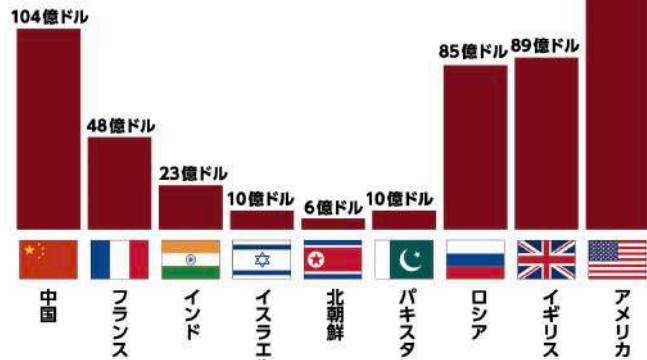


2019年の
核兵器関連支出総額

729億ドル

(7兆9461億円)

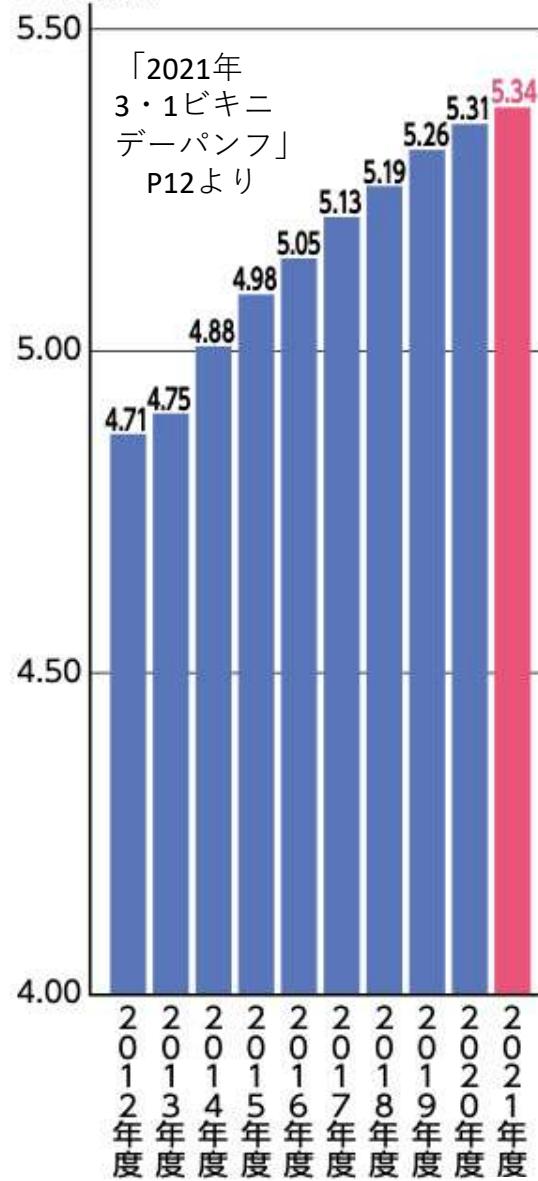
1ドル109円の場合
1分ごとに
13万3699ドル
(約1440万円)!



核保有国は2019年、保有する1万3千発以上の核兵器のために、
1分ごとに13万3699ドル(約1440万円)を支出しています。(ICANウェブサイトより)

日本の軍事費の推移

SACO・再編・政府専用機・国土強靭化を含む
(単位:兆円)

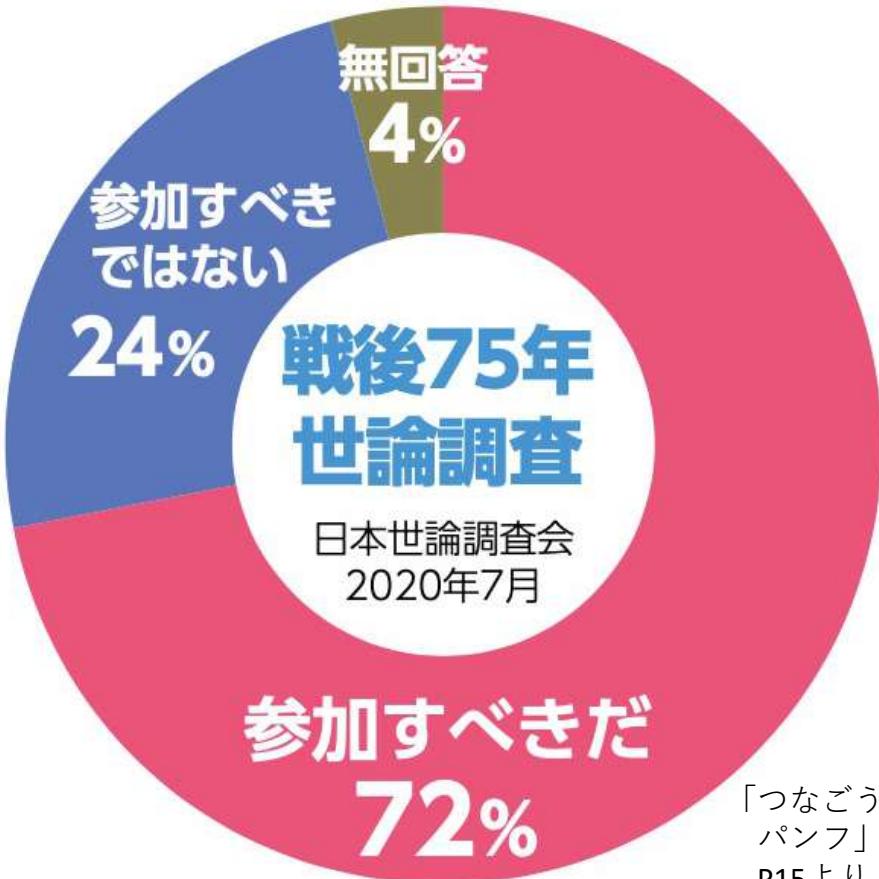


被爆国にあるまじき日本政府

- 政府の欺瞞的態度
- 被爆国として核廃絶をリードする
非核国と保有国との「橋渡しをする」
 - 核兵器禁止条約に反対
 - 日本と国民の安全は米国の核兵器に守ってもらう、核抑止の維持強化
 - 日米同盟第一、米国の対中戦略に加担、敵基地攻撃論、軍拡・配備強化、史上最高の軍事費

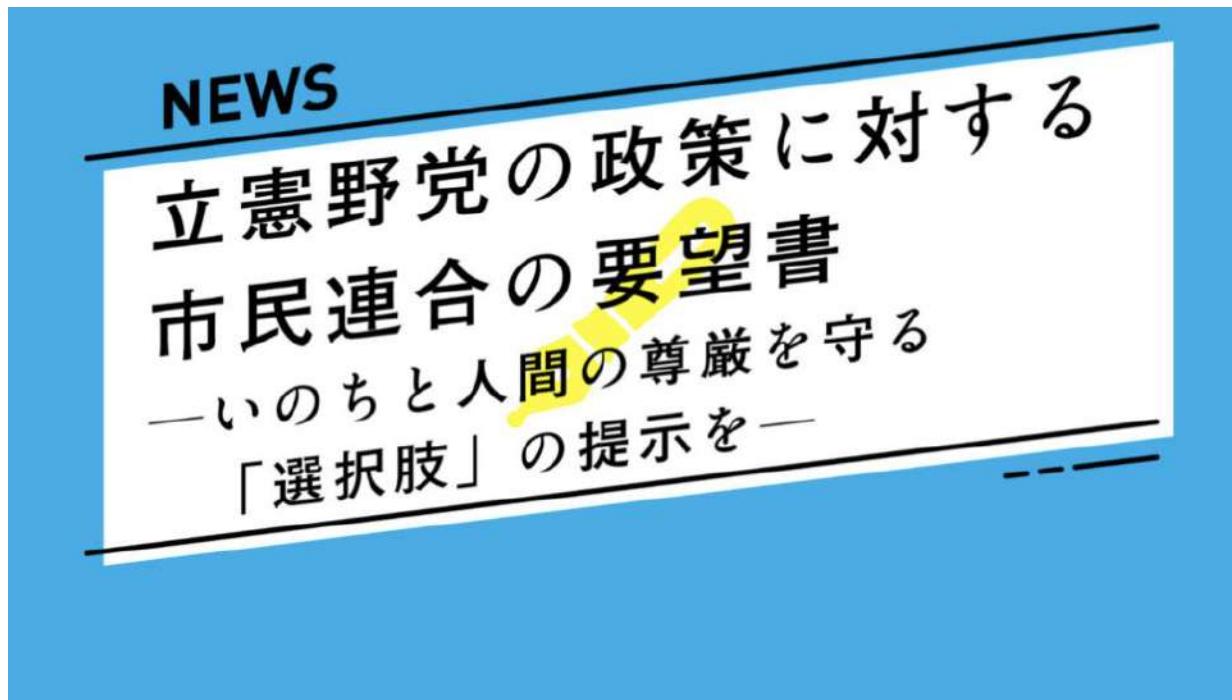
政権	年	決議内容	共同提案国
安倍政権	2016	あらゆる核兵器使用の壊滅的で非人道的な結末に深い懸念を表明。	109
	2017	(削除) あらゆる核兵器使用の壊滅的で非人道的な結末に深い懸念を表明。	77
	2018	核兵器使用の壊滅的で非人道的な結末に深い懸念を表明。	69
	2019	核兵器使用の壊滅的で非人道的な結末を認識。(表現を弱める)	56 半減
	2020	過去のNPT再検討会議での合意を「履行すること」との文言を削除	26
日本決議に国際社会の厳しい批判			
・ 2020年日本政府の国連決議 「核兵器のない世界に向けた共同行動の指針と未来志向の対話」			
<ul style="list-style-type: none"> * 核兵器廃絶 → 「究極」の課題 * 核兵器禁止条約への言及なし * NPTの義務や合意の履行 → 「履行」の削除 * CTBT（包括的核実験禁止条約）発効弱める 			
・ 共同提案国の激減 非核国・同盟国も棄権に回る			
<p>第1委員会（10月） 賛成139、反対5、棄権33</p> <p>国連総会（12月） 賛成150、反対4、棄権35</p> <p>昨年総会：賛成160、反対4、棄権21</p>			

「日本は核兵器禁止条約に参加すべき」 との世論が大勢を占める



市民連合 今年は総選挙の年！ 核兵器禁止条約に参加する政府を選ぼう

CIVIL ALLIANCE FOR
PEACE AND CONSTITUTIONALISM

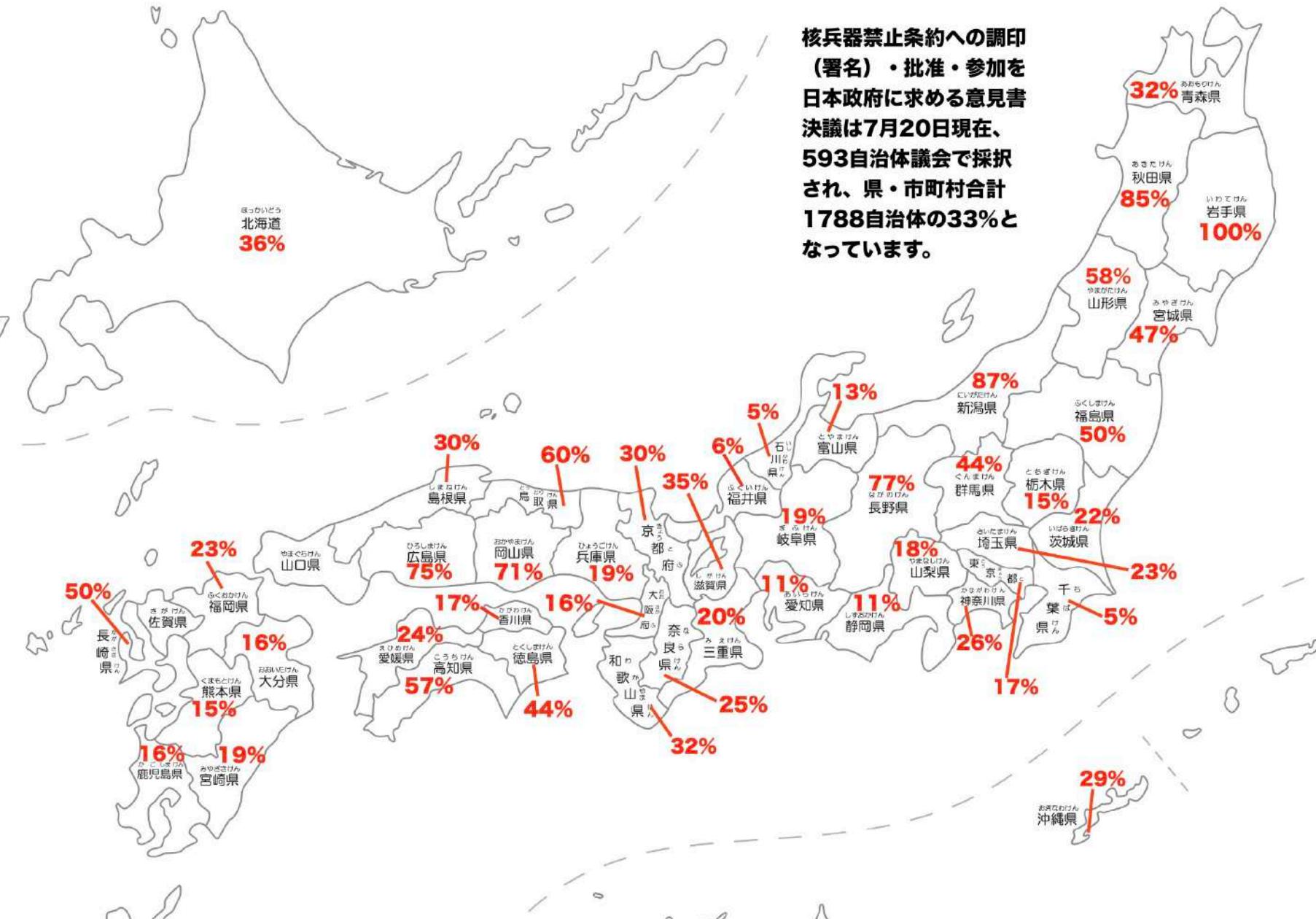


Ⅳ 世界の中で生きる平和国家日本の道を再確認する

13. 平和国家として国際協調体制を積極的に推進し、実効性ある国際秩序の構築をめざす。

平和憲法の理念に照らし、「国民のいのちと暮らしを守る」、「人間の安全保障」の観点にもとづく平和国家を創造し、WHOをはじめとする国際機関との連携を重視し、医療・公衆衛生、地球環境、平和構築にかかる国際的なルールづくりに貢献していく。核兵器のない世界を実現するため、「核兵器禁止条約」を直ちに批准する。国際社会の現実に基づき、「敵基地攻撃能力」等の単なる軍備の増強に依存することのない、包括的で多角的な外交・安全保障政策を構築する。自衛隊の災害対策活動への国民的な期待の高まりをうけ、防衛予算、防衛装備のあり方に大胆な転換を図る。

核兵器禁止条約への調印
(署名)・批准・参加を
日本政府に求める意見書
決議は7月20日現在、
593自治体議会で採択
され、県・市町村合計
1788自治体の33%と
なっています。



3割を超える自治体議会が日本政府に意見書を出す

コロナ禍の中でも平和行進でアピール



2021年「平和の波」行動スタート



核兵器禁止条約を力に世論をつくろう

- ・第76回国連総会
- ・第10回NPT再検討会議（2022年1月ニューヨーク）
- ・禁止条約第1回締約国会議（2022年1月ウィーン）

核兵器は禁止されました

手をつなごう 核兵器のない 世界と未来へ

CONTENTS

- 中満泉さんからのメッセージ
- 禁止条約の第一人者より
- 著名人からのメッセージ
- データで見る核兵器
- 被爆者の体験記
- 核兵器をめぐる世界の動き
- 禁止条約に参加する日本を
- あなたも署名を
- 手をつなごう政治を変えよう
- 若者からのメッセージ
- 平和行進と世界大会

原水爆禁止日本協議会

平和の波2021
8/2 mon → 8/9 mon

伝えひろげよう
あなたにできるやり方で
世界中をつなごう

あなたも
参加を

8月2日から9日まで、核兵器廃絶を共通の目標とし、それぞれの国で核兵器禁止条約への支持と参加を呼びかけるグローバルな草の根の共同行動です。

- 禁止条約への参加を政府に求める署名にサインする
- 被爆者の証言聞く
- 8月6日と9日に熱とうする
- スタンディングで知らせる
- 反核メッセージをツイートする
- 原爆展に参加する
- 玄間におりづるをかざる
- お寺・教会の鐘をつく

全国からみんなで

原水爆禁止2021年世界大会に参加しよう

主催／実行 原水爆禁止日本協議会
〒113-8464 東京都文京区演舞 2-4-4 平和と効率センター6階
TEL 03-5842-6031 FAX 03-5842-6033
E-mail antiatom55@hotmail.com URL http://www.antatom.org/

手をつなごう
「つなごうパンフ」
好評発売中！
核兵器のない世界と未来へ
読んで納得→行動へ

ご静聴
ありがとうございました

